

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--|---------|-------------|
| 事業所番号 | 4090800030 | | |
| 法人名 | 有限会社 竹松 | | |
| 事業所名 | グループホーム 楽園 | | |
| 所在地 | 〒811-0323 福岡県福岡市東区志賀島1735番地の153 092-603-1233 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年07月10日 | 評価結果確定日 | 平成24年08月08日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=40 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|----------------------|--------------|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 北九州シダプル協会 | | |
| 所在地 | 福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5-27 | 093-582-0294 | |
| 訪問調査日 | 平成 24年07月24日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

設立7年目の「楽園」は周囲の自然環境に恵まれ四季の移り変わりを五感で感じられる施設です。理念で掲げている「介護は心」を念頭に「その人らしさ」をいかしたケアに努めています。毎日一緒に家事をしたり、自園での畑にて野菜を育て収穫を行ったり、地域との交流も積極的に行い、地域での年中行事にもお誘い頂き、入居者の皆様も大変喜んでおられます。入居者の皆様にとって「こちよい第2の我が家」になる様、全職員で頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム「楽園」は、博多湾や能古島を見渡せ、志賀島の潮風の香りに包まれた海辺で、デイサービス、宅老所併設の複合施設である。介護福祉に精通したオーナーが、歴史と文化の香る街で、熱い思いを込めて6年前に開設し、理念や基本方針、対応七ヶ条を作成し、リーダーと職員が、理解し、利用者一人ひとりの目線に立った介護サービスで、明るい笑顔に包まれ、家族の信頼は深いものがある。利用者とは職員は、地域の行事に積極的に参加し、ホームのバーベキューや運営推進会議に地域住民や家族が沢山参加し、交流の輪が広がっている。また、利用者の身体機能維持に向けた取り組みは、利用者の残存能力を活かし、生活リハビリを兼ねた、掃除や調理、畑仕事等で、利用者の自立支援に向けて、生きがいのある暮らしの取り組みを、実践している「楽園」である。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 |
|--|---|---|---|
| 58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 61 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+) + (Enter+)です。〕

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 住み慣れた場所で日常生活が出来る様、入居者と寄り添い入居者の目線に立って職員全員で共有している。地域の一員としての生活の中なかかわりや交流を深め支援を行う。 | 介護に「心」をこめる、というホーム独自の「理念」や、地域密着型サービスの意義を踏まえた「基本方針」を全職員が共有し、理念に基づいた介護サービスの実践に向けた取組みが行われている。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 志賀島の行事、小学校や保育園、幼稚園の行事も参加させて頂き、又日頃の散歩などでも近所の方から声を掛けて頂いたり、園児の皆さんとも交流があり、入居者の皆さんも楽しく過ごされています。 | 町内会に入り、回覧板などのやり取りで、地域の実情把握を行なっている。地域行事も多彩で、利用者と職員が参加し、活発な地域との交流が始まっている。また、散歩時の挨拶や、清掃活動等、利用者や職員が地域の一員として近隣住民との交流が始まっている。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議を活用し、認知症の理解を深めて頂く為日常生活の様子や状況等をお伝えしている。又包括支援センターの方から情報提供して頂いています。 | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に一度運営推進会議を開催し、入居者様及び楽園での近況報告等を行い、又地域の皆様からの助言や質問包括支援センターの職員方への質問等活発なやり取りがあります。 | 会議は関係者出席のもと、2ヶ月毎に開催し、ホームの運営状況、課題など幅広く、活発に意見交換が行われている。そこで出された意見、提案、課題等が検討され、事業所の運営に反映出来るよう取組んでいる。 | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 困難事例の相談や空室状況の情報、運営推進会議への参加をお願いしている。又地域で相談を受けた場合は包括支援センターにつなげている。 | 運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加があり、ホームの実情や取組みに理解が得られている。また、日頃から行政窓口と連絡を取り、協力関係を構築する取組みが行なわれている。 | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・外部研修での報告等全職員共有している ・言葉による拘束、行動制限を行う等ミーティング話し合いを行い知識向上を図る ・玄関の施錠はせず個々の状態を把握し見守りを行う | 管理者と職員は、身体拘束廃止のための外部研修、伝達研修、ミーティング等を通じて、拘束が利用者にもたらす影響を理解し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部研修に行き、ミーティングや園内研修にて報告を行い情報、知識の共有に努める 今まで事例もなく防止できている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|
| | | | 自己評価 実践状況 | 実践状況 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | 6 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 外部研修での報告や資料提示、配布を園内研修で行い、知識の共有に努めている。又運営推進会議にて地域包括支援センターの職員より地域の方への情報提をして頂いている。 | 過去に成年後見制度の活用事例があったが、現在、該当者はいない。職員は、制度を理解し、パンフレットや資料を常備し、利用者や家族が必要な時にいつでも活用できる支援が整っている。 |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時は重要事項、契約書等の説明を行い、その場で質問を受け納得された上で署名、押印してもらっている。 | |
| 10 | 7 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 定期的を担当者がご家族へお電話したり、面会時に意見要望等あった際は運営推進会議等で報告している | 意見箱の設置や「楽園だより」の発行、運営推進会議に家族の出席、各種行事や受診同行等を通じ、ホームと利用者、家族が、交流する機会は多く、利用者の健康状態を報告する等、家族が安心できるように努力している。 |
| 11 | 8 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティングや個人面談、歓談の中で意見を聞いて反映させている。 | 定期的に職員ミーティングを開催し、職員が意見を言い易い環境を作り、出された意見や要望、提案を、出来るだけホーム運営に活かす取組みを行なっている。また、職員の個別相談にも対応する支援が行なわれている。 |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の仕事の対する姿勢の向上、スキルアップの為研修等に力を入れる。希望の休みには限りなくこたえながら、働きやすい職場作り心がけている。 | |
| 13 | 9 | 人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 男女差別なく定年を70歳まで引き上げている。介護の資質が高い方には70歳以上の方も働いてもらっている。また職員は介護力を発揮出来る様勤務を配慮している。 | 職員の採用は、年齢、性別、経験等の制限はなく、採用後は資格取得や経験に応じた教育、研修により、職員がそれぞれの能力を発揮できる環境を整えている。また、定年延長の措置がとられるなど、職員が安心して働けるよう配慮されている。 |
| 14 | 10 | 人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる | 職員に人権を守る研修等に参加してもらい、常に人権を尊重し、尊厳を守る言動、行動をとってもらう様日頃から注意を促している。 | 管理者と職員は、地域の人権学習会に参加し、人権教育、啓発活動に取り組んでいる。また、認知症高齢者への理解を中心に研修、ミーティングや日常業務のなかで周知徹底され、意識の向上を図る取り組みが行われている。 |
| 15 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 個人面談を定期的に行い職員の思い、要望など聞きながら、その人その人に合った研修を選び、参加してもらう事でその人のモチベーション上げる様にしている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 外部評価 | |
|--------------------------|----|---|---|---|
| | | | 自己評価 実践状況 | 実践状況 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | GH協議会に加入し、毎月研修、勉強会がありその時に合わせ訪問の機会を作っている。 | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 17 | | <p>初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | 生活歴、趣味、日課や入居してからの要望や不安、心配ごとなど本人様にお聞きし安心して過ごして頂ける様に入居時に時間を取っている | |
| 18 | | <p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | 入居時に入居希望にいたる経過、要望、困っていた事、不安等をお聞きして関係作りに努める | |
| 19 | | <p>初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | 本人様とご家族から情報をお聞きしプラン作りの際参考にさせて頂いている。希望されるサービスは出来る限り参加して頂いている | |
| 20 | | <p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | 入居様から料理を一緒に行いながら味付けのしかたや昔の生活の知恵など教わったり、畑の収穫時期や野菜の選別の仕方など聞いたり信頼関係を築いている | |
| 21 | | <p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | ご家族とは随時連絡を取り、面会や電話で話す等入居者様が安心出来るような働きかけを行う | |
| 22 | 11 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | ご家族、知人様の面会、外出等の推進、必要時はご家族様に協力頂き対応する、時に病院の定期受診はご家族との外出の機会として全面的に協力をお願いしている | 利用者が住み慣れた場所や人との関係が、途切れないよう家族の協力を得ながら、積極的に支援している。また、知人、友人、遠方からの親せきが来訪し、利用者とは歓談する等、関係継続へ向けての支援が行なわれている。 |
| 23 | | <p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | 日常生活でのお手伝いやレク等に取り組んで頂いています。又苦手でなかなか参加頂けない方には入居者同士声掛け合せて参加をお願いしています。又個々に合った活動を職員と一緒に等支援しています | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去されても年賀状を出したり、入院されていればお見舞いに行ったりして何らかつながりをもっている。 | | |
| 、その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 25 | 12 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | まずは本人の意向に添った暮らしの提供をしています。困難な場合はミーティングや家族の意向に添うケアを実施する | 管理者と職員は、利用者に寄り添い、利用者の思いや、行きたい所や食べたい物等を聞き取り、要望にこたえる支援をしている。また、利用者の過去の履歴や家族からの情報提供で、利用者一人ひとりの、意向の把握に努めている。 | |
| 26 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ケアマネ、家族に情報提供して頂きなるべくこれまでの生活を継続と考えるが、改善が必要な時はミーティングなどで決める | | |
| 27 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日のバイタルチェック、一日の生活リズムを観察し援助につなげてます | | |
| 28 | 13 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | まずは家族、本人に意見を聞き、それを踏まえた上でミーティングで話し合いよりよいプランにつなげてます | 利用者、家族の意見・要望を事前に聴き取り、カンファレンス、モニタリング等で、関係職員が検討し、介護計画を3ヶ月毎に作成している。また、家族や主治医と日頃から連絡を取りながら、利用者の状態変化に合わせ、その都度見直しを行なっている。 | |
| 29 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の記録は経過記録に記入し、情報伝達が必要な時は連絡帳に記入し共有する。それにともないプランを見直します | | |
| 30 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | その他のサービスは今の段階では取っていません | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|---|
| | | | 自己評価 実践状況 | 実践状況 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 入居者様、一人一人持っているスキルを十分に生かし出来る範囲のお手伝い等を無理なくして頂き安全に生活を送って貰ってます | |
| 32 | 14 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | それぞれの主治医とホームの連携は取れています。薬関係、血液関係等での情報交換をして適切な医療を受けられるよう支援しています | 利用者のかかりつけ医の受診支援と、協力医療機関からの定期的な往診、訪問歯科が実施されている。利用者が安心して暮らしていけるよう、日頃の健康管理と共に、協力医療機関と連携し、24時間医療連携体制を確立している。 |
| 33 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 定期的に来られ、健康相談を受けています | |
| 34 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時はそれぞれ主治医と密に連絡を取り合い、情報交換し病院側とホーム側、常に状況を把握しています | |
| 35 | 15 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 終末期の研修等には参加する機会が多いが、施設でターミナルを行うに当たった準備は具体的には行っていない。契約時重度化した時への対応については説明し同意書に署名、押印もらっている。 | 重度化や終末期に向けて、「対応指針」を作成し、ホームとして「出来ること、出来ないこと」を、利用者と家族に説明し、同意を得る取組みを行なっている。利用者の状態変化に合わせ、早い段階から関係者間で方針の共有を図る等、利用者、家族が安心できる体制が整っている。 |
| 36 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 救命救急等の研修に積極的に参加し、園内でのミーティング等で発表し知識向上に努める。緊急時に備えて訓練は現在行っていますが、今後行う予定です。 | |
| 37 | 16 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協働体制を築いている | 消防訓練を定期的に行い、避難順路を身に付けるよう努めています。地震等の避難訓練については現在日時等は調整中である。緊急時等は地域の方々への応援協力して頂けるとの事で連絡網の見直し | 非常災害に備え、消防署の協力を得て、定期的に避難訓練を行なっている。現在、地域住民に協力を要請し、地震・津波等の対応訓練を計画中である。防災マニュアルを整備し、研修参加等への取組みも行なわれている。 非常災害時を想定し、地域住民の協力参加を得て、夜間想定避難訓練実施が望まれる。また、ライフラインが途絶えた場合の非常食、飲料水、非常用備品等の備蓄の再検討を期待したい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 38 | 17 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 以前の仕事や個性を尊重し、人生の先輩として色々教わりなが対応している | 管理者、職員は利用者一人ひとりの尊厳に配慮し、優しい言葉かけやトイレ誘導等、プライバシーを損なわないよう配慮した対応を心掛けています。また、自己決定し易い「声かけ」「見守り」の実践が見られる。個人情報の保護や、職員の守秘義務の徹底にも取り組んでいる。 | |
| 39 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | それぞれのケアプランに添って、本人の希望を生かした対応をしている | | |
| 40 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | せかしたり、強制することはせず、本人の意思、ペースに合った支援をしている | | |
| 41 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 衣類は個人で管理し、ご自分で選んでいる。ボランティアの方がカット、お化粧品を下さる | | |
| 42 | 18 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 出来る範囲で一緒に料理、片づけをし味見をして貰ったり、アドバイスを生かした食事作りをしている | 利用者の楽しみの一つである食事は、利用者の出来る範囲で、利用者と職員と一緒に食事の準備から下拵え、後片付けなどを行ない、利用者と職員が同じテーブルで、海を眺めながらの食事は、のどかで楽しい食事風景である。 | |
| 43 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分量が少ない方は表を作成し常にチェックしている。食事は体重が増加している方や疾病のある方は調整している | | |
| 44 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 自力で歯磨き出来る方は見守りで対応している。歯科医師に指示を仰ぎ仕上げや義歯洗浄を行っている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 19 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄表を作り、時間を見て誘導しトイレでの排泄を支援している | 利用者一人ひとりの排泄の習慣、記録、パターンを把握し、早めの誘導、声かけを行い、トイレでの排泄の支援をしている。また、紙パンツから布パンツに転換できた事例等があり、利用者の自信回復に繋げている。 | |
| 46 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 牛乳、ヨーグルト、バナナなどは毎日食べたり、飲んだりして貰う。体操、腹部マッサージなど行っている | | |
| 47 | 20 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | ご本人の要望を聞き受け入れている。一応月～土曜まで入浴して貰っている。入浴剤など入れ楽しんで貰っている。 | 入浴は毎日可能となっていて、入浴の回数や時間帯についても、利用者の体調や希望を探り入れた柔軟な入浴支援が行なわれている。入浴剤を使用する等様々な工夫がされ、楽しんで入浴が出来るよう支援している。 | |
| 48 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人一人のペースに合わせて安心して頂ける様に支援している。眠れないときは話を聞いたり精神安定に努めている | | |
| 49 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 一人一人ファイルを作成して定期的に確認を行い、変更があった場合は申し送りにて情報の統一をしている | | |
| 50 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人一人の状態に合わせて家事、手伝いや畑仕事など行っている。又毎日散歩し気分転換を図っている | | |
| 51 | 21 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日課として散歩、出来ない日はドライブ等の外出、買物などに行く、又は不定期に外食やウインドーショッピング等バスハイクを行う、ご家族との外出を兼ね月1～2回の定期受診はご家族対応で行う。お盆、お正月もご家族と相談の上帰省されている | ホーム周辺の散歩が日課となり、不定期ではあるが、志賀島周遊ドライブや外食、バスハイクなど外出行事も多彩である。利用者の体調に配慮しながら、出来るだけ戸外にでかけるようにしている。また、普段行けない場所へも、家族の協力を得て、外出支援をする機会は多い。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>事務所にて一括で預かり必要な時はお渡ししている</p> | | |
| 53 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>年賀状、暑中見舞いなどを書かれ家族へ出しています。電話の希望はご家族いらっしゃる時間を見計らい掛けて頂く</p> | | |
| 54 | 2.2 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ゆっくり穏やかに過ごして貰う為テレビ、ラジオの音、入浴時に入浴剤を使う。そして季節の花を飾ったりと工夫をする</p> | <p>天窓からの柔らかい日差しを受け、開放感のあるリビングの窓外には、能古島が見え、行き交う船を眺めることが出来る。また、室内には利用者と職員が一緒に作った作品が展示され、季節感溢れる、癒しの空間となっていて、利用者が、居心地良く過ごせるよう配慮されている。</p> | |
| 55 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>フロアの中でソファーに座り楽しく話している</p> | | |
| 56 | 2.3 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室はそれぞれ自分の好みで好きな物を置き、ご自分の部屋作りをしています</p> | <p>居室は、住み慣れた家から利用者の馴染みの物を持ち込んでもらい、清潔で安全に配慮された居住環境で、居心地よく過ごせるよう配慮されている。</p> | |
| 57 | | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>それぞれ出来る範囲のお手伝い等は積極的に行なって頂き、ご本人様のペースで生活出来るよう支援する</p> | | |